

No.150 Dec.2020

LIVE

今月のテーマ

飛沫を防ぐのは…

気温が下がるとともに空気が乾燥し、ウイルスが活発に活動する季節に入ってきました。毎年マスクが活躍するのはこの時期からですが、今年は新型コロナウイルスの影響もあって、これまで一般的だったマスク類以外の商品にもスポットライトが当たるようになりました。しかし、そうした商品の効果はどのくらいあるのでしょうか？



マスクは人にウイルスをうつさないためのもの

まず、マスク本来の用途をおさらいしましょう。

マスクの役目は、咳やくしゃみで飛散する唾液や鼻水を他の人に飛ばさないよう遮断すること。

咳やくしゃみのある人がマスクをつけた場合、風邪やインフルエンザ患者は1回の咳で約10万個、1回のくしゃみで約200万個のウイルスを放出するそう。この時患者がマスクをつけていると、これらを含んだしぶきによる周囲の汚染を減少させることができるとされています。

間違ったつけ方をしないようにしましょう。

マスクには正しいつけ方がありますからよく覚えておきましょう。

- ① 大き過ぎず小さ過ぎず自分の顔のサイズにあっているかどうか。
- ② 裏と表を間違えないようにしましょう。(ヒダが下向きになるようにするのが正解です)
- ③ 着いたらヒダを伸ばして鼻からあごまでしっかりと覆う。
- ④ 鼻の周りのワイヤーを押さえて隙間を無くす。

フェイスシールドやマウスシールドの効果は？

フェイスシールドの本来の役目は飛び散る唾液などから眼球を守るためのもの。しかもマスクと併用することが本来の使い方。また「エアロゾル」と呼ばれる微細な粒子はほぼ全量が漏れ出しているとの実験結果が出ています。

同じくテレビでよく見かける口元だけを覆うマウスシールドも、同じような効果しかないと考えられているようです



From the author ... それでもマスクの着用率が上がったことでインフルエンザの患者さんは減っているとか…。